



～ 人にやさしく走る街 ～

深大寺通り交通社会実験中間状況のお知らせ

平成22年11月19日

●●● 交通社会実験が始まりました

平成22年11月8日（月）から11月28日（日）までの予定で実験がスタートしました。

●●● 3種類のイメージハンプを設置しました



深大寺通りを通行する車両が『30km規制』を守っていただけるよう、「イメージハンプ」と呼ばれる路面の模様や、看板などを設置しました。設置工事は実験初日の11月8日（月）に実施しました。

●●● 無料駐輪場を設けています



歩道上の駐輪を防ぎ、歩きやすい道路にするために、実験期間中は毎日、深大寺境内の「深沙の杜」（小田急バス「深大寺」バス停の裏手）に無料駐輪場を設けています。自転車の他、原付やバイクの方もぜひご利用下さい。

●●● 街づくり協議会の活動紹介を行っています（土曜日・日曜日・祝日のみ）

実験の共催団体であり、「水と緑と寺とそばのまち深大寺」を目標に掲げている「深大寺通り街づくり協議会」の活動を広く知っていただくため、実験期間中の土日祝日には、協議会の活動内容を紹介するパネル展示を深大寺境内の「深沙の杜」で行っています。



深大寺街づくりの目標	
調布市及び東京の貴重な地域資源を活かした街づくりを進めるため、深大寺通り周辺地区を特徴づけている「水と緑」(寺とそば)「住まい」の3つをテーマとし、以下のような街づくりの目標を設定しました。	
【街づくりの目標】「水と緑と寺とそばのまち深大寺」	
《水と緑》	国分寺産緑の豊かな水と緑を保全・活用し、安らぎのある武蔵野の原風景を再生します。
《寺とそば》	深大寺の歴史と文化を継承し、歴史的な趣のある素朴な観光文化歴史拠点を形成します。
《住まい》	深大寺らしさを大切にし、心豊かな落ち着いた住宅地を形成します。

展示パネルの例

●●●ドライバーのマナーアップを促す実験を行います

規制速度 30km を超過しているドライバーが自発的に速度を抑えるよう、ドライバーに直接働きかけを行い、効果を把握します。効果が確認された場合、効果を持続させる活動につなげていくことも考えられます。

実験は、埼玉大学工学部建設工学科 設計計画研究室の協力を得て実施します。

日にち※	11月24日(水)	11月25日(木)
時間	午前7時～午前10時（7時に「深沙の杜」集合）	
項目	①「速度超過ドライバー-自覚促し実験」を実施	①「速度超過ドライバー-自覚促し実験」 ②「速度提示実験」 同時実施

※雨天中止

①速度超過ドライバー-自覚促し実験

歩行者・自転車利用者がこうむっている危険な思いを、体験談として直接ドライバーに伝え、道徳意識に働きかけます。

実験スタッフがドライバーに配布物を手渡す



②速度提示実験

ドライバーが実際に出している速度を直接ドライバーに伝え、道徳意識に働きかけます。



※イラストはイメージです



※実施箇所は、当日の交通状況によって変更する可能性があります。

●●●アンケートを実施します

11月27日(土)・28日(日)を中心に、来街者や住民の方々などにアンケートを実施します。調査票をお渡しした場合は、ぜひご協力をお願いいたします。

【実施主体】調布市・深大寺通り街づくり協議会

【お問い合わせ】調布市 都市整備部 都市計画課 地域支援係

〒182-8511 調布市小島町 2-35-1 電話：042-481-7444 (直通)